

2022年8月28日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

後	祝	頌	献	会	説	聖	使	礼	交	主	会	会	前	8
奏	告	栄	金	衆	教	書	徒	拝	交	の	衆	衆	奏	月
感謝	報告	聖	聖	賛	エル	朗	信	祈	読	祈	賛	賛	招	28
祈祷	禱	歌	歌	美	サレ	読	条	禱	イ	り	美	美	詞	日
		3	1		ム				ザ	大			マ	聖
		7	9		に				ヤ	い			タイ	日
		6	8		て				書	なる			11	礼
			(穂				5	方			章	拝
			1		谷				に	(28		
			〜		弘				7	1			節	
			3		二				節	〜				
			節)		牧					3				
					師					節)				

■聖歌459「救い主の愛と」(1〜3節)

- ①すくいぬしの愛と 流しませる血とを
生けるかぎりわれは かさねがさね歌わん

※イエスは われの とがを洗いさりて
雪のごとく 白くならせたもう

- ②君の血しおこそは 人をまたくすくい
いぎなう者の手より 守るちからなれや

- ③この世ながら あまつ よろこびに満つれど
やがてイエスをあおぐ そのさちや いかならん

■「大いなる方に」(1回)

大いなる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
聖なる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
今 弱い者よ 叫べ 勇士だと 勝利の主が ともにおられる
今 貧しい者よ 叫べ富んでいると 恵みの主が ともにおられる
感謝します

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みか}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいたしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 イザヤ書 56章 1～7節

- 1 主はこう言われる。「公正を守り、正義を行え。わたしの救いが来るのは近いからだ。わたしの義が現れるのも。」
- 2 幸いなことよ。安息日を守って、これを汚さず、どんな悪事からもその手を守る人は。このように行う人、このことを堅く保つ人の子は。
- 3 主に連なる異国の民は言ってはならない。「主はきっと、私をその民から切り離される」と。宦官も言ってはならない。「ああ、私は枯れ木だ」と。
- 4 なぜなら、主がこう言われるからだ。「わたしの安息日を守り、わたしの喜ぶことを選び、わたしの契約を堅く保つ宦官たちには、
- 5 わたしの家、わたしの城壁の内で、息子、娘にもまさる記念の名を与え、絶えることのない永遠の名を与える。
- 6 また、主に連なって主に仕え、主の名を愛して、そのしもべとなった異国の民が、みな安息日を守ってこれを汚さず、わたしの契約を堅く保つなら、
- 7 わたしの聖なる山に来させて、わたしの祈りの家で彼らを楽しませる。彼らの全焼のささげ物やいけにえは、わたしの祭壇の上で受け入れられる。なぜならわたしの家は、あらゆる民の祈りの家と呼ばれるからだ。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 ルカの福音書 19章 41～48節

- 41 エルサレムに近づいて、都をご覧になったイエスは、この都のために泣いて、言われた。
- 42 「もし、平和に向かう道を、この日おまえも知っていたら――。しかし今、それはおまえの目から隠されている。
- 43 やがて次のような時代がおまえに来る。敵はおまえに対して塁を築き、包囲し、四方から攻め寄せ、
- 44 そしておまえと、中におまえの子どもたちを地にたたきつける。彼らはおまえの中で、一つの石も、ほかの石の上に積まれたまま残してはおかない。それは、神の訪れの時を、おまえが知らなかったからだ。」
- 45 それからイエスは宮に入って、商売人たちを追い出し始め、
- 46 彼らに言われた。『わたしの家は祈りの家でなければならぬ』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣』にした。」
- 47 イエスは毎日、宮で教えておられた。祭司長たち、律法学者たち、そして民のおもだった者たちは、イエスを殺そうと狙っていたが、
- 48 何をしたらよいのか分からなかった。人々がみな、イエスのことばに熱心に耳を傾けていたからである。

■聖歌 198 「イエスは神であるのに」(1～3節)

- ①イエスは神であるのに 人の子として生まれ
若き日をば大工で 過ごしました

※このけだかい 救い主が
今も生きてわれらを 救うのです

- ②イエスのなめた人生 人が思う以上の
ひんとあせと涙の つづきでした
- ③罪があれば 愛もて 赦しとがめだてせず
病あれば手をつけ いやしました

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」